



合志市からその功績を称え、名誉市民を授与された内柴選手。9月16日には熊本県から県民栄誉賞特別賞も授与されました。

金メダルを身近に 感じる祝勝会

9月15日、ヴィーブルで行なわれた祝勝会には、内柴選手を一目見ようとたくさんの方々が訪れ、金メダル2連覇達成を祝いました。

内柴選手は「市民の方がこんなにいるなんて驚きました(笑)」と熱狂ぶりについて話し、「皆さんに感謝しています。ありがとうございます。わたしは18年間、柔道をするために地元を離れていました。内柴は熊本をすてたという声もあつたと聞いています。しかし、熊本を忘れず過ごし、こうして2連覇を達成することができました。住所は東京にありますが、名誉市民の称号をいただいたので、改めて合志市民の一員と



金メダルすごいなー!

なることができ、とてもうれしく思います。少し前に左腕の手術をしました。が、現役を続けるためです。ひじを万全にして春か秋には復帰したいと思っています。また応援よろしくお願いします」とあいさつ。会場から大きな拍手が送られました。

この後行なわれた金メダルにふれることができる時間には長蛇の列ができ、大盛況。参加者は実際にさわったり写真をとったりと、はじめて見る金メダルに大興奮の様子でした。

この2日間、合志市、そして熊本を大切に思う気持ち、さらには地元を貢献したいという気持ちを聞かせてくれた内柴選手。選手としての内柴選手をこれからも見たいというファンの期待に応え、現役続行の決意についても話してくれました。努力の人、内柴選手の挑戦はまだまだ続きます。



おかえりなさい! 内柴選手!

内柴選手凱旋!

9月12日、北京オリンピック柔道男子66キロ級金メダリストの内柴正人選手(武蔵野台区出身)が、市役所を訪れ金メダル獲得の報告を行いました。当日、合志庁舎玄関前にはたくさんの子どもたちやファンが待機。長男の輝くんとともに内柴選手が登場すると、握手を求めたり写真を撮ったりと熱烈に凱旋帰郷を歓迎しました。

地元での歓迎に内柴選手は「皆様のために2個目の金メダルをとって来ました!獲得できたのは地元の方々のおかげです。現役を続けますので、また応援よろしくお願いします」と笑顔で力強くあいさつ。大住市長の「柔道を生かしたまちづくりを行なうため、内柴正人杯少年柔道大会をぜひ開催したい」との要請にも「わたしにできることがあればお手伝いしたいです」と快諾していました。近い将来、合志市の子どもたちの中から第2の内柴選手が誕生するきっかけとなるかもしれません。